



釣り解禁

今年も4月より順次、中禅寺湖での釣りが解禁。4月1日には岸釣りが解禁された。解禁日には天候に恵まれ、多くの人が釣りに集まった。4月20日には船釣りが解禁され、穏やかな中禅寺湖にぷかぷかと浮かぶ船たちが戻ってきた。釣りの解禁の知らせが静かな冬の奥日光に春を呼び込み、観光客の足取りも軽くなったように見えた。



お天気情報

例年、「5月に入るまでは車のスタッドレスタイヤを外さないこと」とスタッフ一同言われていますが、今年は雪解けや春の訪れが早く、4月中盤から春らしい日が出てきました。私もひとあしお先にノーマルタイヤにチェンジ！日により冷たい風が吹くときもありますが、あたたかい日も増え、春の訪れを景色と体でたっぷり感じています。

三本松茶屋とは…

三本松茶屋は栃木県日光市中宮祠、戦場ヶ原近くの日光国立公園内に店を構えています。創業は明治4年といわれ、男体山の麓で人々の往来を100年以上も見守ってきました。日光銘菓をはじめとする日光土産の販売はもちろん、食堂では日光名物湯波を使った料理などを提供しています。

そのほか、Nikko Brewingとして日光市木和田島でクラフトビールの醸造をしています。県内全域で販売、全国各地でもECサイトからお買い求めいただけます。

日光のニュー・スタンダードをめざし、日々おいしいビールを作っています。詳しい情報は裏面のNB TIMESをチェック！

そのほか、Nikko Brewingとして日光市木和田島でクラフトビールの醸造をしています。県内全域で販売、全国各地でもECサイトからお買い求めいただけます。



赤沼～戦場ヶ原展望台 編



手に進み、木道を歩きます。木道は、湿原の保護のために設置されました。自然に優しく、という気持ちで歩きやすさに

暖化による気温の上昇、積雪の減少などにより戦場ヶ原の湿原は草原に変わりつつあります。歩けば歩くほど景色の変わる木道。赤沼の入り

口から30～40分で戦場ヶ原展望台にたどり着きました！ここからの景色はまさに圧巻！湿原の奥には男体山がそびえ立ち、雄大な自然をこれでもかと楽しむことができます。赤沼から戦場ヶ原展望台までは、天候が良ければ30～40分で着くことができます。展望台より先へもまた違った景色を見られるのでぜひ歩いてほしいのですが、往復1時間というところであれば赤沼～戦場ヶ原展望台のコースがおすすすめです！



湿原は水を多く含むため、根を下へ下へと張ると根腐れしやすくなります。そのため湿原に生える木々は根を横へ

もつながるなんて……。木道の道はアップダウンも少ないため、ハイキング初心者や小さな子供、体力に自信のない方にもおすすすめです。戦場ヶ原展望台を目指す、左側に見えてくるのは湯川です。湯川は湿原よりも低い位置に流れており、湿原から流れる水の排水路となっているのだとか。排水路とはいえ、大自然の排水路。水は透き通り、川底の植物まで見ることができ



ます。今回は戦場ヶ原へ！というところで、分岐を右手に進み、木道を歩きます。木道は、湿原の保護のために設置されました。自然に優しく、という気持ちで歩きやすさに

奥日光へ着くたびに毎回自然の美しさに感動していますが、なかでも私がときめくのは木々の間に横たわる倒木たち！倒れた木たちは、道路や歩道に出てしまった箇所を除き、基本的にはそのままにされています。中禅寺湖周辺から戦場ヶ原周辺にかけて風や雨、根腐れなどの影響で倒れているさまざまな木を見かけます。その中でも間近に見られる戦場ヶ原の湿原に倒れる木々の迫力と言ったら！

赤沼からこの倒木までは歩いて40分ほど。ぜひとも木の足元をじっくりと見ていただきたいです！その他、道中にも数々の倒木が見られます。土ごとひっくり返したり、途中で折れてしまったり、倒れ方もさまざま。倒れてもお新たな植物の栄養となり、若い木たちが育つこともあります。倒木ロマン続く！

～弥生祭～

4月13日(木)から17日(月)にかけて、日光二荒山神社では4年ぶりに弥生祭が行われました。肌寒さもありながら、天候に恵まれ、県内外から多くの人が集まりました。弥生祭は町同士のごたごた(トラブル)がないようにと始まり、「ごたごた祭り」とも呼ばれます。祭りは慎重に作法通りに行います。1つでも間違えると、ごたごたが起きてしまうと言われる。春の訪れを祝う伝統行事でもあり、歴史は深く、

もつながらなんて……。木道の道はアップダウンも少ないため、ハイキング初心者や小さな子供、体力に自信のない方にもおすすすめです。戦場ヶ原展望台を目指す、左側に見えてくるのは湯川です。湯川は湿原よりも低い位置に流れており、湿原から流れる水の排水路となっているのだとか。排水路とはいえ、大自然の排水路。水は透き通り、川底の植物まで見ることができ

取材として私たちも弥生祭の見学へ行ってきました。町にもあります。観光客も参加させてもらいます。ささてもらえること。何台もの「花家体」もあるようです。が二荒山神社を目指して坂を上った。いく姿は圧巻でしたが、個人的に久しぶりのお祭りとお囃子に合せてみるも興奮！取材も忘れた。花家体を眺めたりお囃子を聞いた。境内に入ると、二荒山神社の鳥居を近くで見ると、近寄ると町内の方から声をかけられ、なんと花家体を引かせてもらおうこと！

戦場ヶ原をはじめ、日光国立公園内の植物は採取が禁止されています。植物たちは厳しい環境に順応しながらも、生きています。奥日光へ着くたびに毎回自然の美しさに感動していますが、なかでも私がときめくのは木々の間に横たわる倒木たち！倒れた木たちは、道路や歩道に出てしまった箇所を除き、基本的にはそのままにされています。中禅寺湖周辺から戦場ヶ原周辺にかけて風や雨、根腐れなどの影響で倒れているさまざまな木を見かけます。その中でも間近に見られる戦場ヶ原の湿原に倒れる木々の迫力と言ったら！

赤沼からこの倒木までは歩いて40分ほど。ぜひとも木の足元をじっくりと見ていただきたいです！その他、道中にも数々の倒木が見られます。土ごとひっくり返したり、途中で折れてしまったり、倒れ方もさまざま。倒れてもお新たな植物の栄養となり、若い木たちが育つこともあります。倒木ロマン続く！

戦場ヶ原展望台を目指す、左側に見えてくるのは湯川です。湯川は湿原よりも低い位置に流れており、湿原から流れる水の排水路となっているのだとか。排水路とはいえ、大自然の排水路。水は透き通り、川底の植物まで見ることができ

赤沼からこの倒木までは歩いて40分ほど。ぜひとも木の足元をじっくりと見ていただきたいです！その他、道中にも数々の倒木が見られます。土ごとひっくり返したり、途中で折れてしまったり、倒れ方もさまざま。倒れてもお新たな植物の栄養となり、若い木たちが育つこともあります。倒木ロマン続く！

赤沼からこの倒木までは歩いて40分ほど。ぜひとも木の足元をじっくりと見ていただきたいです！その他、道中にも数々の倒木が見られます。土ごとひっくり返したり、途中で折れてしまったり、倒れ方もさまざま。倒れてもお新たな植物の栄養となり、若い木たちが育つこともあります。倒木ロマン続く！

赤沼からこの倒木までは歩いて40分ほど。ぜひとも木の足元をじっくりと見ていただきたいです！その他、道中にも数々の倒木が見られます。土ごとひっくり返したり、途中で折れてしまったり、倒れ方もさまざま。倒れてもお新たな植物の栄養となり、若い木たちが育つこともあります。倒木ロマン続く！

赤沼からこの倒木までは歩いて40分ほど。ぜひとも木の足元をじっくりと見ていただきたいです！その他、道中にも数々の倒木が見られます。土ごとひっくり返したり、途中で折れてしまったり、倒れ方もさまざま。倒れてもお新たな植物の栄養となり、若い木たちが育つこともあります。倒木ロマン続く！

赤沼からこの倒木までは歩いて40分ほど。ぜひとも木の足元をじっくりと見ていただきたいです！その他、道中にも数々の倒木が見られます。土ごとひっくり返したり、途中で折れてしまったり、倒れ方もさまざま。倒れてもお新たな植物の栄養となり、若い木たちが育つこともあります。倒木ロマン続く！

スタッフも弥生祭に参加!?

取材として私たちも弥生祭の見学へ行ってきました。町にもあります。観光客も参加させてもらいます。ささてもらえること。何台もの「花家体」もあるようです。が二荒山神社を目指して坂を上った。いく姿は圧巻でしたが、個人的に久しぶりのお祭りとお囃子に合せてみるも興奮！取材も忘れた。花家体を眺めたりお囃子を聞いた。境内に入ると、二荒山神社の鳥居を近くで見ると、近寄ると町内の方から声をかけられ、なんと花家体を引かせてもらおうこと！

戦場ヶ原をはじめ、日光国立公園内の植物は採取が禁止されています。植物たちは厳しい環境に順応しながらも、生きています。奥日光へ着くたびに毎回自然の美しさに感動していますが、なかでも私がときめくのは木々の間に横たわる倒木たち！倒れた木たちは、道路や歩道に出てしまった箇所を除き、基本的にはそのままにされています。中禅寺湖周辺から戦場ヶ原周辺にかけて風や雨、根腐れなどの影響で倒れているさまざまな木を見かけます。その中でも間近に見られる戦場ヶ原の湿原に倒れる木々の迫力と言ったら！

赤沼からこの倒木までは歩いて40分ほど。ぜひとも木の足元をじっくりと見ていただきたいです！その他、道中にも数々の倒木が見られます。土ごとひっくり返したり、途中で折れてしまったり、倒れ方もさまざま。倒れてもお新たな植物の栄養となり、若い木たちが育つこともあります。倒木ロマン続く！

赤沼からこの倒木までは歩いて40分ほど。ぜひとも木の足元をじっくりと見ていただきたいです！その他、道中にも数々の倒木が見られます。土ごとひっくり返したり、途中で折れてしまったり、倒れ方もさまざま。倒れてもお新たな植物の栄養となり、若い木たちが育つこともあります。倒木ロマン続く！

WHAT'S BREW ではビールの作り方について迫っていく。

普段飲んでいるビールはどうやってできているのか...

知ればビールがもっとおいしくなる！



第4回「ビールの仕込み 2」

～前回のさらい～

※詳しくは2023年3月号のアーカイブをチェック！

仕込みは「粉碎」「糖化」「濾過」「煮沸」と大きく4つの工程に分けられる。まずは「粉碎」という麦芽を細かくする作業。次に麦芽と温水を釜に入れ攪拌し「糖化」をさせ、おかゆ状の“マイシェ”をサラサラの状態にしていく...

糖化が終わると次に待っているのは「濾過」という作業。おかゆ状のマイシェを透明な液体にゆっくりと変えていきます。

「濾過」には麦の殻皮がろ過材として使われます。麦芽の粉碎を細かくしすぎず、糖化の攪拌もほどよくするなど、序盤の仕込みを丁寧に行うことで、ここの「濾過」に生きてきます！ぎゅっと絞るなどの強制的な濾過は濁りの原因に！そのほか、香りや味、泡立ちにも影響が...。なんと発酵にも影響が出てしまうのだとか。根気強く焦らず待つべし。ゆっくりと濾過された麦汁は金色のあの色に！マイシェがそのまま濾過された麦汁を第一麦汁、その次に湯がかけられて、残っているエキスが抽出されたものを第二麦汁といいます。だんだんと麦からビールに成長...。たくさんの工程があつた煌めく1杯を生み出していく！次回もお楽しみに！

奥日光の春がきた！花を楽しむ5,6月！



アズマシャクナゲ@ 英国大使館



ヤマツツジ・トウゴクミツバツツジ



クリンソウ@ 千手ヶ浜



ズミ@ 戦場ヶ原



ニホンジカ@ 半月山



ワタスゲ@ 戦場ヶ原

三本松茶屋のわきに生える「のぼりふじ」が4月中旬には芯を出し、ゴールデンウィークにはきれいに咲きそうです。生命力の強い「のぼりふじ」。この植物は奥日光の厳しい冬があっても春のあたたかさを待ち、きれいな花を咲かせます。4月17日には、半月山に続く中禅寺スカイラインの冬期間鎖が終わり、再開通しました。例年、5月上旬にはスカイラインでアカヤシオが咲きます。半月山展望台では、八丁出島、中禅寺湖、男体山を望むことができそうです。これからの季節におすすり！中禅寺金谷ホテル周辺ではシロヤシオが咲きます。こちらは湯元方面へ向かう道中に見られ

ますので道中に要チェック！例年、6月1日ころにワタスゲの一番便が咲き始めます。真っ白でふわふわのワタスゲ。湿原に自生する高山植物です。いつも一番に咲くワタスゲは日当たりの良い場所にいるのだとか。探し出してみても楽しいですよ！冬の静けさから一変、植物や動物、虫の息を感じるにぎやかな春がやってきました。ワタスゲに続けと、レンゲツツジ、クリンソウ、ズミも咲きだします。5月下旬から6月初旬にかけて、奥日光のハイキングはとってもいい季節です！春を迎えた奥日光のいきいきとした植物たちを見ることが出来ますよ！

New release info.

5th Anniversary!

Belgian-Style Quadrupel

Nikko Brewing の5周年を記念して、フルボトル500本限定のビールが登場！

Quadrupel を名乗るのにふさわしく、アルコール度数は10%と高め。

ワインとも違う、深いアロマとビア特有の心地よい余韻を楽しんでいただきたい。

恋人や大切な人と食事をしながら、ゆったりと飲むのにおすすめ。





Happy 5th Anniversary

Nikko Brewing は 2023 年 4 月 1 日をもって 5 周年を迎えた。日本初のブルワーの一人である菊池明氏の指導を仰ぎ、「醸造未経験者」と限定づけて社員を募集。奥日光のブランド 発信力の向上のために、あくまで奥日光誘致の掛け橋となるべく始まった。小さな工場は昨年 10 月に増設工事をし、リニューアルオープンするなど日々成長を続けている。5 年かけて日光市内だけでなく県内各地で販売されるようになり、EC サイトやふるさと 納税で全国流通に。県内の飲食店でも取り扱いされ、NB だけで飲んでいたタップから注がれる生ビールもレストランなどで飲めるようになった。これまでに作ったビールはプロトタイプ（試作販売品）も含めなんと 65 種類以上もあり、惜しまれながらも製造終了してしまう商品も多々。さまざまな場所でお買い求めいただけるようになったが、三本松茶屋や Nikko Brewing でしか販売のない商品もあるため、ぜひとも店頭まで足を運んでいただきたい。

新商品情報



NIKKO PILSNER

栓を開けた途端にホップが香る、透き通った金色の Nikko Pilsner。キレのいい苦みとのどごしの良さは、キンキンに冷やしてグビッと飲むのがおすすめ！鼻から抜けるホップの香りと後から来るモルトの香りで、まるでビールに包まれたような心地に。クラフトビールに欲しかったガツンとした苦みが楽しめます！

HAZY IPA

優しい黄色に輝く HAZY IPA はなめらかな舌触りと丸さが印象的です。ほどよい酸味と甘みがフルーティーさやフローラル感を演出し、苦味がきゅっ全体の味をしめます。繊細な味わいのため、飲むたびにいろいろな味に気が付きます。森のやわらかな朝を思わせるビール。ぜひゆったりと飲んでいただきたいです。



優しい印象の Hazy IPA ですが、実は Nikko Pilsner よりも苦み度数の IBU はたかいのだとか。2つの飲み比べもとっても楽しい！まるっきりタイプの異なる 2 種類です！

THIS BEER, I LIKE!

ここでは、おすすめのビールを紹介させていただきます。

今回はクラフトビール事業部の目黒さんです。

ビール名 / ペルジャンブロンド Un

ABV : 6% IBU : 19 SRM : 5

ホップ : マグナム、カスケード、ケントゴールドディング

モルト : Pils, Munich, Sour, CaraAroma ※糖類を含む

こんなところが好き! : ボディもありモルトの味わいがしっかり感じられる飲みごたえが好きです。なにより 440 円という価格も懐にも優しくいいですね。

おつまみはこれ! : 燻製、ソーセージ、ジャーキーなど濃いめの味によく合います。とくにこのペルジャンブロンドのビールに浸け込んで加工している「ピアジャーキー」は工場でも合わせて販売しておりますのでオススメです。

こんな時におすすめ! : 肉類との相性がいいのでキャンプなどのアウトドアで BBQ やスモークとともにガツツリ飲むともうそれだけで非日常的な気分になります。

最後に一言: ラベルデザインもクラシックで落ち着きがあり、ちょっとしたギフトとしても喜ばれます。EC サイトからも全国へ発送可能ですのでお気軽に、日頃の感謝を伝えたい方へ喜ぶ笑顔を思い浮かべながら気持ちを贈られてみてはいかがでしょうか。

ビール × 山椒



男体山山椒葉

あっという間に 2023 年も 5 月。あたたかい春から初夏に向かっていくような気候が増えてきました。奥日光でも長かった冬が終わり、次々と花が咲き始めています。Nikko Brewing では夏限定商品として山椒を使ったビールを製造しています。ビール×山椒...? 意外と合うんです!

中禅寺湖の目の前に建つ二荒山神社の境内には山椒の木が豊富! 特別に収穫の許可を得て、NB のビールに使わせていただいています。毎年 5 月下旬 6 月上旬に社員総出で山椒の若葉の収穫を行っています。手摘みの山椒は香り豊か! 今年の収穫もまもなく... (5 月現在) フレッシュな山椒の葉を使った山椒ビール。ピリッとさわやかな夏らしいビールをお楽しみに!

NBTIMES

Vol. #01

TAKE FREE



弥生祭で Nikko Brewing ビールを発見！

4月16日、17日に3年ぶりに行われた弥生祭。日光市にある二荒山神社で1200年続く伝統行事だ。県内外から多くの人が集まり、「花家体」やお囃子を楽しんだ。境内には屋台もでるなど、二荒山神社周辺はお祭りムード満載！外国人観光客も増えてきた日光。お祭り当日は多くの方は飲んだり食べたりの賑わいを見せる中、NBビールを片

手に歩くお客さんを見発見！実は日光駅周辺ではNBビールを取り扱っている店舗が多く、気軽に購入が可能。天気も良く、お祭りというのもあり、まさにビール日和！コク深い味わいのベルジャンシリーズのブロンドUnと、規格外とされ店頭に並ぶ予定のなかった栃木県産のいちごを使ったベルジャンシリーズ Trois を手に取る

人が多かった様子。日光市内にて日光市で作られたクラフトビールを飲む贅沢！社員としても贅沢な景色だった！



あしかがフラワーエール

栃木県足利市にある「あしかがフラワーパーク」では、藤の見ごろが4月中旬からと例年よりやや早く、県内外から多くのお客さんが来場しています。紫の花がたわわについた枝をこれでもかと伸ばす大藤は圧巻！そんな藤の花が

デザインされた「あしかがフラワーエール」、実は Nikko Brewing で製造しています。さわやかながらコクも感じる味わいは、これからの季節にぴったり！花を見ながら飲むもよし、木陰に休んで飲むもよし、ぜひとも屋外で風を感じながら飲んでいただきたい1本です。

